

在宅看取りを叶えるために知っておきたいこと ～医療システムの落とし穴～

6月29日 (日)

予約不要
参加自由

お話: 14:00~16:00 会場: 本堂

講師: 石井 敦子さん (大阪青山大学看護学部教授)

9割の人が病院で亡くなる時代から、少しずつ自宅で亡くなりたいと希望する人が増えているようです。檀信徒さんとお話してもそう感じます。しかし、実際、最期は在宅でという夢がかなえられずに亡くられる方も多くあります。どうも、現在の日本の医療システムにその原因があるようです。その背景には、機能分化した病院の入退院システムの都合など医療制度の問題があるようです。石井先生によると「例えば、肺炎で入院したとします。高齢者の場合、肺炎は治療で治っても、治療のために絶食になったことで、今まで自分の口から食べていた人でも食べられなくなることがよくあります。そうすると、食べ物が食べられない状態では退院できないと言われますが、肺炎治療を目的とした急性期病院には一定の入院期間を超えて入院することができず、転院を迫られます。転院先には療養型の病院などがありますが、そこに転院した直後に、やはり家で看取りたいと思っても、療養型病院として必要な在院日数などの制約から、希望通りには退院させてもらえません」。なるほど、素人ではわからない、そういう仕組みがあるのですね。どうすれば住み慣れた場所で穏やかな最期を迎えられるのか、お聞きしたいと思います。 住職 記



◆プロフィール

石井 敦子
大阪青山大学看護学部教授
兵庫ライフケアクリニック副院長
川西ライフケア訪問看護ステーション所長
特定非営利活動法人サイエンス & アート理事長

◆参加費無料・予約なし。どなたでも自由に参加できます。初めての方も大歓迎です!

主催: 観瀧山 岡本寺 (こうほんじ) TEL.072-793-0203

〒666-0121 兵庫県川西市平野1-33-14 TEL/FAX072-793-0203 mail: vyku11976@nike.eonet.ne.jp

ホームページ <https://www.kohonji.jp> または 川西市岡本寺 検索



岡本寺QR